

なないろこども園

日時：2019年2月4日（月）13:15-17:15

2019年2月8日（金）9:30-16:00

場所：高島市今津町福岡 1926

他園は神社の境内や公園などで学習会を行いました。今回は唯一、園庭で2日間の研修を行いました。2月の寒い中、体を動かし温めながら、園庭を見つめ直す機会となりました。参加者が自園の先生のみでしたが、保護者にも参加していただき、保護者の反応を見ることもできる研修となりました。

（対象：4歳児 40名）

1日目は講座、下見とプログラムづくり、2日目は作成したプログラムの実践とふりかえりです。講座の一部を紹介します。 講師 島川武治（しまっち）さん

園庭にも自然を感じることができる。

毎日遊んでいる園庭の印象が、遊びを通じて自然が一つひとつ違うことに気づきます。また五感を通して木々に触れていると、その樹皮の様子の違い、葉の茂り具合、触れた時の温度の違いに気づきます。

遊んでいるうちに、だんだんと木1本1本が個性的な存在になり、生きていることに気づいていきます。

いつもの園庭だからといっても、少し見方を変えると、違うものに見えてきます。



ルーペで、樹皮を観察。コケの森が出来ていたり、虫が隠れていたり、木そのもの以外に命の場になっていることに気づきます。

木に触れて、温度の違いを感じます。じっくり触っているとその違いが分かってきて、園庭の1本1本の木が愛おしくなれます。



木と友だち

木とはいっても、どれも一緒ではありません。葉っぱが落ちる木があれば、落ちないものもあります。樹皮がざらざらしていたり、ツルツルしていたり。そんな木々の写真を見て、写真の木はどれなのかを当てるゲームを保護者と共に行いました。また、木から木に手を伸ばしてつながり、ゴールの木を目指しました。

こうした木との関わりによって、四季を通じての木の変化に気づき、園庭にはたくさんの個性を持った木があり、木は生きていることに気づくプログラムでした。

木に触ってみよう！温かい木、冷たい木、色々あるね。



お父さん、お母さんと木を探そう！「あっちにあった気がする！」「いやこっちだと思う」

「この木は...正解です！」「いえーい！」正解したグループはとてもうれしいです。

木と木を繋ごう！最初は難しかったけどみんなと協力してクリア！



なないろメロディー

園庭の自然物で音を作ります。まずは先生が牛乳パックに自然物を入れて何かを当てるクイズ！その後、班に分かれ、相談しパックの中に入れるものを、他の班にわからないように入れ、クイズを出し合います。これだけでも園庭にはいろんな自然物があり、音の違いに気づくことができます。

最後には各々が好きなものを入れ、部屋の中で「うたえばんばん」を大合奏！自身で見つけた音で一体感を出すような、そんなプログラムを行いました。

自分の大きな声で、音を意識し、寒さを吹っ飛ばす！「大きな声を出そう！」



一度座って、音遊び。中には何が入っているでしょう？



今度は班で相談して問題を出そう！「何が入っているかよ〜聞いてね」



最後はみんなで大合奏！「うたえばんばんばんばんばーん！」

プログラムを終えてのふりかえりから

- 自然について、人生の中であまり感じなかったが貴重な体験ができた。
- 不安があったが、楽しかった。
- 寒さへの配慮が必要だったが、子供たちは集中して良く遊んだなと思った。
- 家庭に持ち帰ってというのはあまり考えなかったが、深いことだなと思った。
- 外に行くのは遊具遊びが中心になってしまうが、今回、遊びの幅が広がった。
- 遊びの面をもっと発信し、楽しいことを伝えられるようにしたい。
- 今後、より検討してプログラムを組みたい。
- 園庭で、木を探すだけでよいのかと最初思ったが、次の遊びに発展していたので良かったと思った。
- 自分があまり、自然に目をむけることができていなかったと感じた。
- 研修に参加して視野が広がったと思う。
- 今までにない発見があった。その部分を見て更なる発見・発展につながると思った。